

## 委員会評価報告書

事業名	多面的機能支払交付金事業（平成 29 年度実施）	
担当課・係	農林整備課 農林企画係	
事業の目的	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に支援を行い、地域資源が将来にわたり良好な状態で保全管理されることを推進する。</p>	
事業の概要	<p>農地法面等の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持や施設の補修のため、農業者及び地域住民で構成・設立した活動組織が提出する年間活動計画（5年間）に対して、対象農用地面積に交付単価を乗じて算出した交付額を交付している。</p> <p>交付金は活動内容により大きく分けて「農地維持支払交付金」と「資源向上支払交付金」の2種類から構成されており、負担区分は国費 50%、県費 25%、市費 25%となっている。</p>	
事業結果に対する評価	C	おおむね適正
<p>【問題点など】</p> <p>事業そのものは良いが、事務処理など煩雑な手続きが必要なため、利用しにくい。</p> <p>高齢化が進む中で、この事業に取り組みにくい。</p>		
事業の今後の方向性	2	継続
<p>【提言など】</p> <p>この事業を活用するには多くの制約があるため取り組みにくいという声があり、少しでも活用しやすくなるよう、可能な限り事務処理の簡素化、簡略化に向け、国や県に対し要請していただきたい。</p> <p>広域化することで事業を推進していくことも市行政の役割であり、朝地地区をモデルに拡大していく手法も対象面積を拡げる一つと考えられる。</p>		